

令和5年度  
紀の川市地域公共交通活性化再生協議会（第1回）  
会 議 録

令和5年6月



## 審 議 結 果

□会議の名称： 令和5年度紀の川市地域公共交通活性化再生協議会（第1回）

□開催日時： 発送日 令和5年6月15日（木）  
提出期限 令和5年6月26日（月）

□委員名簿： 次頁記載

□審議結果：

議案	表決			結果
	賛成	反対	未回答	
【議案第1号】 令和4年度事業報告について	23名	0名	1名	承認
【議案第2号】 令和4年度会計歳入歳出決算について	23名	0名	1名	承認
【議案第3号】 令和5年度事業計画（案）について	23名	0名	1名	承認
【議案第4号】 紀の川市地域公共交通計画の策定方針について	23名	0名	1名	承認
【議案第5号】 令和5年度会計歳入歳出予算（案）について	23名	0名	1名	承認
【議案第6号】 安全性確保対策のためのバス停留所の移設について	23名	0名	1名	承認

□意見等： 別紙のとおり

令和5年度 紀の川市地域公共交通活性化再生協議会 委員名簿

規約第4条に基づく位置付け	所属	職名	氏名	備考
(1)紀の川市の指名する者	紀の川市企画部	部長	角 佳英	会長
	紀の川市福祉部	部長	嶋田 雅文	
	紀の川市農林商工部	部長	西田 吉雄	
	紀の川市建設部	部長	井ノ上 益秀	
(2)法第2条第2号に掲げる公共交通事業者等及びその組織する団体が推薦する者	和歌山バス那賀株式会社	取締役社長	佐伯 一也	
	株式会社有交紀北	代表取締役	西脇 正宜	
	公益社団法人 和歌山県バス協会	専務理事	森下 清司	
	一般社団法人 和歌山県タクシー協会	会長	川村 昌彦	
	和歌山県交通運輸産業 労働組合協議会	バス部会長	坂前 吉信	
	西日本旅客鉄道株式会社	理事 和歌山支社長	金岡 裕之	
	和歌山電鐵株式会社	代表取締役専務	磯野 省吾	
(3)住民又は利用者の代表	打田地区区長会	会長	大木 啓嗣	
	粉河地区区長会	会長	山中 安伸	
	那賀地区区長会	会長	江口 雅夫	
	桃山地区区長会	会長	津田 耕治	
	貴志川地区区長会	会長	森下 宣明	
	紀の川市身体障害者連盟	会長	川嶋 至	
(4)近畿運輸局和歌山運輸支局長又はその指名する者	和歌山運輸支局	首席運輸企画 専門官	一ノ瀬 健	
	和歌山運輸支局	首席運輸企画 専門官	鈴木 健	
(5)岩出警察署長又はその指名する者	岩出警察署	署長	岡田 謙吾	
(6)道路管理者、学識経験者その他の協議会が必要と認める者	近畿大学生物理工学部	講師	山田 崇史	副会長
	和歌山河川国道事務所 和歌山国道維持出張所	所長	山田 育寛	
	和歌山県企画部地域振興局 総合交通政策課	課長	狹間 裕司	監査委員
	那賀振興局建設部	副部長	中村 展久	
	岩出市総務部総務課	課長	西浦 正員	監査委員

【ご意見等】

議案第1号 令和4年度事業報告について

【ご意見（情報共有）】

議案書7ページの1. 路線の運行効率性に関する基準について、市内のタクシー1時間あたりの時間制運賃を4,600円としていますが、令和5年7月3日より和歌山市域地区タクシー1時間あたりの時間制運賃の改定があります。（改定後は1時間あたり5,700円になる）

【事務局回答】

現在の路線の運行効率性に関する基準について、今後は改定後のタクシー運賃との比較で検討したいと考えています。

その他

【ご意見1 地域巡回バスの若年層に向けた利用促進・環境整備について】

地域巡回バスの認知度向上や住みやすい街づくりのためもう少し若年層（子供）にも乗りやすい環境を検討していただければと思います。

（例）

- ・現行小学生以下無料を高校生以下に改定
- ・子供たちがよく利用する施設、市総合体育館（スポーツ会場）付近までのルート開設やバス停設置の検討も併せてお願いできればと思います。

【事務局回答】

買い物や通院に不安をかかえる高齢者等をメインとしつつ、若年層にも利用してもらえる公共交通を皆様と検討していきたいと考えています。

【ご意見2 バス運行における理想について】

バスのことを思うがままに書いてみました。こうあれば…夢物語です

バスについて、高齢者のみでなく老若男女に必須と思います。運営費等難しい問題は多いと思いますが、身近な存在になってほしい。

- ・バスはたまに見るが運転者のみ
- ・送迎者を運営している医院や、食料の移動販売車もある
- ・現在車の運転はしておらず、家人の運転の車で移動するのがほとんどでバス、電車の移動はほとんど無いが、今のところ不自由は感じていない

停留所について、理想は自宅前。高齢者は停留所まで10メートルなら行ける？100メートル歩くのはつらい？じゃ、何メートルまでなら行ける？手をあげれば何処でも止まってくれれば。

路線については、くもの巣状で民営バスを脅かすほどに。時刻表については隙間なく、最低でも1時間に1本。

**【事務局回答】**

ご意見のとおり、移動に困っている方が身近に利用できる使いやすい地域公共交通づくりが課題であると認識しており、課題解消に向けた取組内容について、本協議会でも継続して協議を行っていきたいと考えております。

**【ご意見3 コミュニティバス等の運行の見直しに関する意見】**

- ・補助金の減少のために運賃をもう少しアップを考えると(受益者)
- ・予約型(デマンド)乗合タクシーを増やし、予約型乗合タクシーとコミュニティバスとの乗継を考えると
- ・利便性のある様に考えてほしい

**【事務局回答】**

ご意見をいただいた、予約型(デマンド)乗合タクシーの導入について、地域特性に応じたきめ細やかな地域公共交通ネットワークの実現に向けて検討を進める必要があると考えています。

地域のニーズや、これまでの地域巡回バスの利用実績等をもとに、地域に応じた輸送手段への転換や新たな技術の導入を含めた検討・見直しについて、本協議会でも協議を行っていきたいと考えています。

**【ご意見4 コミュニティバス等の運行の見直しに関する意見】**

1日の便数が少なく利用者が非常に少ない路線については、デマンド化(エリア型も含め)を検討されてはいかがでしょうか。県内ではデマンド化により利用者が増加している例も出てきています。

**【事務局回答】**

固定の運行ルートを設けないエリア型のデマンド運行も含め、地域の特性やニーズに合致した輸送手段について本協議会でも協議を行っていきたいと考えています。